



The Yamagata Association of Psychiatric Social Worker

2018年度 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 「生涯研修制度」委託事業 基幹研修Ⅰ in 山形

10月13日（土）に東根市のまなびあテラスにて基幹研修Ⅰを開催し、11名が受講されました。講義1は那須会長より役割と課題として、私たちは所属機関での仕事の他に地域資源を開拓する役割を担っていると話があり、某プロレスラーの格言「踏み出せばその一足が道となる。迷わず行けば行けばわかるさ」と受講者を後押しする言葉がありました。次の演習では渡部理事を講師に2つの事例についてどうアプローチするかグループで話し合いました。もたらされる情報からいかに影響を受けているか実感し、様々な意見に触れ、気づきの多い時間となりました。講義2ではサポートセンターゆあーずの長谷川智氏を講師に実践論を講話いただきました。コミュニケーション力と記録力は日々磨き続け、説明する力と接遇の心が重要であると学び、困難事例の話も教えていただきました。講義3は山形さくら町病院の永田貴巳氏を講師に専門性を講話いただきました。私たちの商売道具は自分自身であり、健康が第一。実践の中で揺らぐ自分を自覚したときは精神保健福祉士の倫理に立ち返り、思い込みがないか自己点検していくことが大切と学びました。参加者から『実践に活かしたい』『自己覚悟ができた時間だった』等の感想が寄せられました。



★最上ブロック活動★

10月13日基幹研修Ⅰの後、まなびあテラス内のブルーランジェリーカフェ・オッティ・マルシャンにて、交流会を開催しました。参加者12名が洒落た空間で料理と共感話も味わうことができた（？）時間となりました。



★村山ブロック活動★

10月20日『就労支援センターひゅーまにあ山形 見学会』を開催しました。11名の方が参加し、説明や事例紹介、講座等の疑似体験（自己理解講座、職業興味検査）を受けました。『支援者側の自分自身を理解するいい機会になった』『実務にも生かせる』等の感想があり、楽しみながら学ぶことが出来た時間となりました。

★置賜ブロック活動★

10月19日南陽市のダイニングバー・グラッチェ・ディ・クオーレにて置賜ブロック交流会を開催しました。参加者は5名と少人数でしたが、全員と日頃の悩みの他、ワイワイといろいろな会話ができて、大変盛り上がりしました。



ソーシャルワーカーデー2018 inやまがたしレポート！！

多くの皆様からご参加頂きましたが、参加できなかった皆様へもレポートをお届けします！！
ソーシャルワーカーデーとは、ソーシャルワーカーの活動を推進・普及するために7月20日に制定されました（なぜ海の日か是非調べてみてください！）。山形県は、山形県社会福祉士会（以下：社士会）、山形県医療ソーシャルワーカー協会（以下：M協会）、山形県精神保健福祉士協会（以下：P協会）合同で開催しております（ケアマネ協会など他団体にも案内をお送りしています）。
M協会の伊藤氏の司会のもと、社士会の鈴木会長の開会挨拶でスタート！東北公益文科大学 准教授の鎌田剛先生からは『より“ソーシャル”な専門職へ求められる役割の再定義』と題しご講演頂きました。各々が考えるソーシャルワーカーの定義について発言したり、地域の視点に立ち奮闘されている方々の実践例をお聞きしたりと非常に話題に富んだ内容で、私たちが今後はどのような役割を求められるのか、近い未来を見据えたお話もお聞きすることが出来ました。



講演後はワールドカフェです。M協会の中田会長と赤城理事の進行で、“ソーシャルワーカーとしてどんなことにワクワクするか”や“これからの課題”など思い思いに語り合いました。形式ばらず自由に語り合える場は大切ですね。職種は違えど当事者の方を思う気持ちは同じで、この日の繋がりを現場に活かしていきたいと感じられました。お菓子タイムも好評で、中でも屋台風のP協会 那須会長（何の屋台かは皆様の感性にお任せすることとして）と、持ち前のキューートさ×ガチャピンエプロンの後藤事務局長は皆の注目の的でした。



今年ご参加いただいた皆さんはもちろん、参加できなかった皆さんも来年は一緒にどうですか？

第66回精神保健福祉全国大会にて当協会員2名が表彰されました！



お二人の長きに渡る功績が認められ受賞となりました。山形県精神保健福祉協会表彰を受賞されたNPO法人から・ころセンターの山脇みちさん、山形県精神保健福祉協会「作田賞」を受賞された医療法人社団斗南会秋野病院の小関清之さん（前山形県精神保健福祉士協会会長）、おめでとうございます。左写真は小関さんの授賞式でのひとコマです。

※お知らせ※

山形県委託事業の「障がい者支援の障がい特性と支援技法を学ぶ研修会（支援事業者向け）」を、米沢、鶴岡、東根で予定しております。関係機関に案内をお送りしますのでご確認ください。あわせて、当協会ホームページもご覧ください。

発行責任者 那須 裕悌（こまくさの里）
編集 淀野 智史（公德会くぬぎ荘） 遠藤 かおり（梓園）
大泉 裕美（山形県立中央病院） 本間 智美（酒田東病院）
事務局メールアドレス y-soudan@nihonmatsukai.or.jp

